

【 高校1学年 】部

改善すべき課題及び目標	改善に向けての行動の具体的な内容	評価	年度末総合評価・チェック事項
<p>①基本的な生活習慣の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・欠席、遅刻、早退への対応</li> <li>・頭髪・服装の意識づけ</li> </ul> <p>②自己実現に向けた生活の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力の向上</li> <li>・進路実現への意識</li> </ul>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の欠席・遅刻の連絡については必ず保護者から連絡してもらおう。欠席や遅刻の連絡がなく生徒が来ていない場合には必ず保護者に連絡を取る。</li> <li>・検査の際だけでなく、朝のHRや授業時に声かけし、身だしなみを整える。</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習意欲向上を図ることができるよう、教科担当者と担任の連携をはかり、定期試験毎に対策を立てて指導する。</li> <li>・学年集会や面談を通して1年生のうちから自己の目標設定の仕方を伝える。</li> <li>・進路指導部と連携をとりながら、各種説明会、ガイダンス等へ参加し、進路実現への意識を高める。</li> </ul>	<p>① B</p> <p>② B</p>	<p>①各担任が欠席した家庭への連絡を徹底して行い、悩みや欠席の多い生徒にはSSWのカウンセラーとも連携して、適宜面談・家庭訪問等行った。また、服装や頭髪についての指導も毎考査後確認し、必要に応じて本人・保護者と話をしながら改善に努めたが、まだまだ改善する余地があり次年度の課題である。</p> <p>②担任と教科担任が連携を密にしながら、2者面談やHR活動の中で、それぞれの生徒が自分の進路を考えることができた。また、学期末考査の前には考査に不安感のある生徒、自主学習したい生徒へ学習会を実施し学力向上に努めた。</p> <p>外部で行われる進路講話、ガイダンスへ参加をさせてもらい、生徒からも好評の元、進路への意識を高めることができた。</p>